

乳がん放射線治療のご案内

国立成育医療研究センターでは、母性に関係する医療も一部提供しており、乳がんの放射線治療を実施しています。2015年からこれまでに17件の実績があります。

乳がんの放射線治療は、乳がんの手術後の再発予防、または転移した病変の症状改善を目的にした治療です。

* 当センターでは乳がんの放射線治療のみを行なっています。診断や手術などの治療は他院への通院が必要になることご了承ください。

治療と仕事や家事、育児との両立のために

乳がんの放射線治療は月曜日から金曜日の週5日(祝日除く) 20~30回の治療を行いますので、治療に5~6週間通院することになります。治療を休むと効果が低下するため、治療開始後は出来る限り毎日病院に通うことが望ましいとされています。

しかし、多くの女性は、仕事や家事、育児をしながらの治療となり、大きな負担を感じる方もいらっしゃいます。

当センターで治療する方が通いやすいと思われる方は、かかりつけの病院の医師に放射線治療を当センターで行うことをご相談いただければと思います。

当センターの放射線治療室の中では、お好みの音楽やビデオを流しながら、リラックスして治療を受けることができます。女性の看護師、技師もおりますので、安心して治療を受けていただけます。

<予約方法>

今かかっている病院の担当医師から医療連携室 03-5494-5486(月~金 8:30~16:30)にお電話いただければ予約いただけます。

医師に、「紹介状(診療情報提供書)」の作成を依頼し、紹介状は予約日当日ご持参下さいますようお願い致します。

詳しくはHPをご覧ください

